# 複合一貫輸送ターミナルの整備(中央防波堤内側地区)

### ■事業目的

内貿ユニット貨物\*需要の増加及びにRORO船の大型化への対応を目的とする。 また、構造を耐震強化岸壁とすることで、震災時には緊急物資輸送用岸壁として利用する。

\*:雑貨輸送の効率化のため、機械荷役が出来るパレット、コンテナ等にまとめられた貨物のこと

### 【複合一貫輸送ターミナル(X4,X5)整備事業】

■整備施設 岸壁(水深9m)(耐震)

泊地(水深9m)、道路

■整備期間 2007年度~2013年度

■総事業費 149億円

ハイブリットL型ブロック



高さ:12.1m 長さ:29.9m 幅:14m 重さ:1,014t

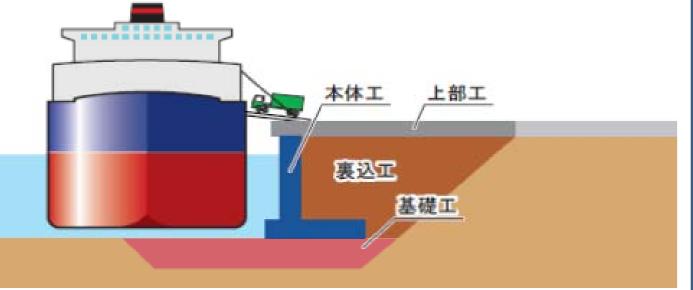


高さ:6.1m 長さ:6.4m 幅:3.7m 重さ:88t



#### 【整備効果】

大型RORO船が就航可能となり、大量輸送による効率化と物流コストの低減が図られる。





#### RORO船とは

- ◇ Roll On Roll Off Ship(ロールオンロールオフ船)の略で「乗り込んで、降りる」と言う意味。
- ◇ 船の中にトレーラーが自走して乗り込む構造で、クレーンを使わずに直接貨物 の積み降ろしが出来る。
- ◇ トラック輸送と比べて、貨物の大量輸送が可能で、またCO₂排出量も少ない。 RORO船積込状況

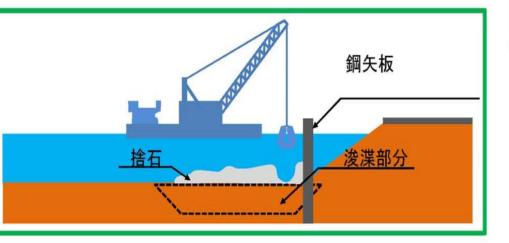
# 複合一貫輸送ターミナルの整備(中央防波堤内側地区)

## 工事の流れ

### Topics

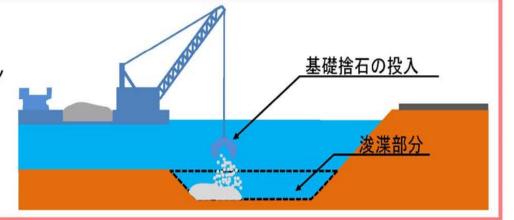
### 浚渫工 撤去•掘削工

岸壁設置箇所の既設護岸・捨石の 撤去を行い、基礎採石の投入範囲 の浚渫を行います。



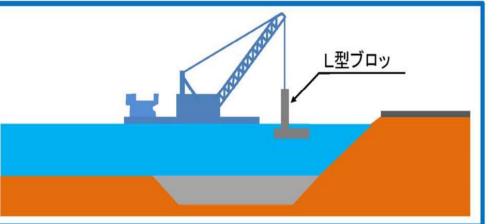
基礎工

基礎捨石の投入、荒均し、本均し を行い、岸壁(L型ブロック式) の土台を造ります。



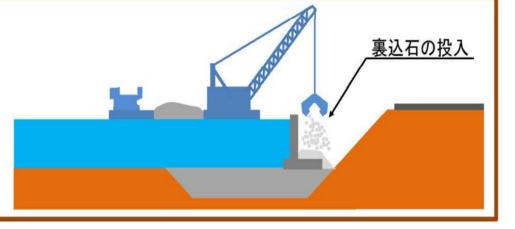
本体工

L型ブロックを製作し、据え付け ます。



裏込工

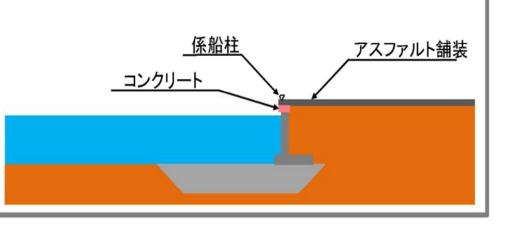
岸壁の安定を高めるため、背面に ガット船で石や土を投入します。



上部工

岸壁エプロンをアスファルトで舗装します。 係船柱などの付属品を取り付け

係船柱などの付属品を取り付けます。

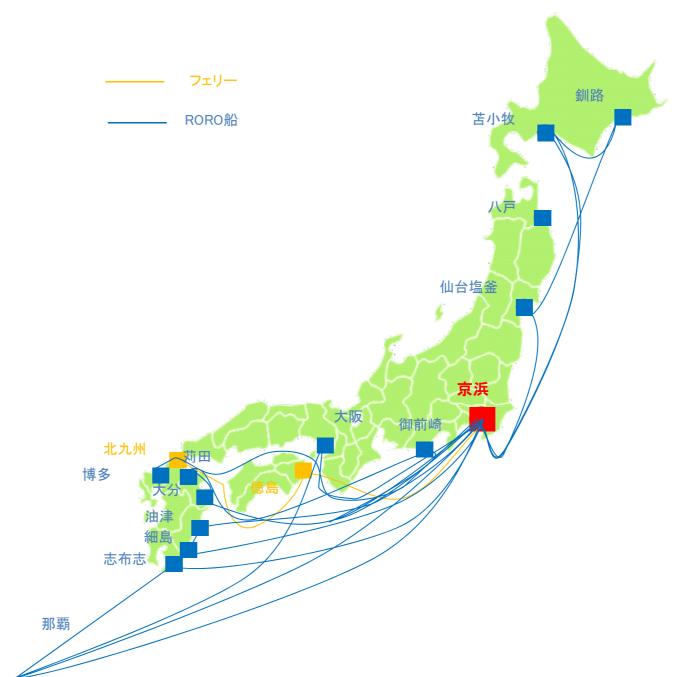


#### これからの複合一貫輸送に対応した内貿ターミナル



岸壁水深を9mとすることで大型のRORO船等の入港が可能となります。また、海上輸送、陸上交通機関への荷役・積替を効率的に行うことができ、物流コストの削減につながります。

#### ・複合一貫輸送の拠点として全国各地へのフェリー航路やRORO船航路が就航。









#### 複合一貫輸送ターミナルの整備(中央防波堤内側地区)の工事経緯

#### 工事の経緯

年度

H19 事業採択

H20 浚渫工(X4、X5)

•泊地浚渫

H22 撤去工(X4、X5)

・既設護岸の撤去

H23 基礎工(X4、X5)

•床堀工•基礎工

本体工(①)(X4)

・HBLブロック製作

HBLブロック据付

H24 本体工(X5)

・HBLブロック製作

・HBLブロック据付

裹込·裹埋工(②)(X4)

上部工(舗装・付属物)(③)

(X4)

H25 X4岸壁竣工(H25.3)(④)

H25 裏込·裏埋工(X5)

上部工(舗装·付属物)(X5)

H26 X5岸壁竣工(H26.3)







